



九州八県赤十字大会大会宣言

ちよっとした言葉かけや行動に優しくされた方も、誰かの

「助け合いの心」や「支え合い」は

五万人、いじめ認知は県内で約一

約五千七百人



「今こそ子どもたちに
人道の精神を」

鹿児島県青少年赤十字指導者協議会
会長 岩下修



ふれあいの窓

かごしまJRC

発行所
鹿児島県青少年赤十字
指導者協議会

事務局
日本赤十字社鹿児島県支部
鹿児島市鴨池新町1番5号
電話(代表)099-252-0600

は小中高三校種合同で開催され、

グ・センター

未来につながる
青少年赤十字の学び

「気づき」がいつばいある学校

活動を支える指導者協議会の先

活動を支える指導者協議会の先

活動を支える指導者協議会の先

青少年赤十字

実践目標
健康・安全、奉仕、国際理解・親善
態度目標
気づき、考え、実行する

活動を支える指導者協議会の先

活動を支える指導者協議会の先

活動を支える指導者協議会の先

活動を支える指導者協議会の先

活動を支える指導者協議会の先

活動を支える指導者協議会の先

令和7年度 青少年赤十字研修・講習会

夏季トレセン

令和七年八月四日(月)～六日(水)

鹿児島情報高等学校 大庭 洋行



この夏季小中高合同トレセンは一昨年に計画が始まり、今回初めて小・中・高がそろって実施することができた。とても賑やかで活気あるトレセンとなり、大変うれしく思う。青少年赤十字活動の理念と鹿児島に伝わる「郷中教育」の精神を重ね合わせ、鹿児島ならではのトレセンをめざしてきた。異なる年代との交流が少なくなっている子どもたちにとって、この経験は新鮮で貴重なものとなった。活動の随所で高校生・中学生がリーダーシップを発揮し、その姿を見た小学生が新たなリーダー像を見出す場面も見られた。スタッフの先生方も「待つ姿勢」を大切にしながら、「気づき、考え、実行する」姿勢で臨んでいた。先の見通しが難しいVUCAの時代だからこそ、「先見」を大事にした実践を重ねていきたい。

中学校一日トレセン

令和七年十一月二十九日(土)

鹿児島市立谷山中学校 田之上 真由美



生徒会の新役員を中心に二十八名の参加者が集まり、中学校一日トレセンが十一月二十九日に行われました。午前中は赤十字についての学習、非常食作り(ハイゼックス)、グループワークをしながら、今回のテーマ「人道から」をもとに、「気づき、考え、実行する」力を身に付ける大切な機会となりました。非常食の実食や参加校同士の情報交換、ワークショップ(企画書作り)を通して、自分の考えを伝えること、友達の思いを聞くことの大切さを感じ、「参加してよかった」と思える研修になりました。この学びが、学校生活や地域での行動につながっていくことを期待しています。賛助奉仕団の先生方には朝早くからご協力いただきました。ありがとうございました。

高等学校交流・体験会

令和七年九月二十八日(日)

鹿児島情報高等学校 宿 口 泰 伸



「具体的な活動のイメージにつながる体験と他校との交流による今後の活動への展開」を目的に、令和七年九月二十八日(日)、県赤十字会館にて「青少年赤十字高等学校交流・体験会」を開催し、県内六校三十一名の高校生が交流しました。「防災に関する活動について知ろう!」をテーマに、高校生が企画したプログラムで行われました。内容は、非常食炊き出し体験(ハイゼックス)、救急法体験、HUG(避難所運営ゲーム)です。参加者たちは体験を通して防災への学びを深め、他校メンバーとの交流を図りました。体験の多い本イベントは好評で、今後も継続し、他校と連携して鹿児島県の青少年赤十字活動の活性化を図っていきたく考えています。

令和7年度 青少年赤十字研修・講習会

学び・体験するJRC講習会

令和七年八月十八日(月)・十九日(火)

ほびあこども保育園 福元浩子



「子どもたちに「人道」の精神を育てる」をテーマに掲げた学び・体験するJRC講習会は八月十八日(半日)・十九日の二日間で開催されました。

小学校十一名、中学校二名、高校二名の教諭が参加しグループワークや体験・情報交換などを中心に活発な意見交換が見られました。

実践発表では亀徳小学校の児童が自ら気づき、考え、実行していく活動の様子、また鹿児島情報高等学校からは生徒三名が参加者の前に立ち実践発表をしてくれました。

参加者からの感想・アンケートでは「プログラムの中で一番に残ったものは？」の問いに回答者全員がそれぞれ違ったものを挙げており、各々に課題と実践へのヒントを持ち帰ってくれたのではと感じます。本講習での学びや気づきが、教育活動で生かされるよう祈念しています。

令和七年度

青少年赤十字活動推進事業校(園)の取組

大村保育園(薩摩川内市)

「心と体を育む奉仕活動」

大村保育園では、「心と体を育む奉仕活動」をテーマにJRC活動に取り組みました。

一 赤十字入団式

昭和五十五年に青少年赤十字に加盟し、四十五年目の入団式を迎え、改めて世界の赤十字活動を知り、青少年赤十字のちかい「こころとからだをしようぶにし よいことをたくさんします」と、決意を新たに奉仕活動に取り組みました。

二 清掃奉仕活動

地域の清掃奉仕活動を通して、ゴミ拾いを行うとともに、地域の方々とふれ合い、環境美化の心地よさとマナー、SDGsについて学びました。また、園庭の除草や落ち葉清掃、保育室の美化活動を通して、清潔な環境を保全する勤労の心を養いました。

三 緑化活動や栽培

(藤組) 〇・二歳児 スイカ、トマト、キュウリ、サツマイモ (菊・桜組) 二・三・四・五歳児 オオバ、サツマイモ、カボチャ、キュウリ、ナス、トマト、ゴーヤ、アサガオ、ヒマワリ) 栽培活動を通して、地球に優しい環境作りに関わり、生育の不思議や喜び、命の大切さ、食育等を学びました。

四 防災教育

避難訓練で防災について学び、大切な命を守る手段を身につけられるように実践しました。

五 異年齢児交流

年下の友達には労りの心を持ち、年上のお兄さん、お姉さんへは憧れの気持ちで接し、命の尊さ、生き合うこととの尊さを知る心が育ちました。



園では、様々な活動を通して、労りの心や生きる力を育んでいます。心と体を育む奉仕活動を継続し、人間形成の基礎となる幸せな生活の礎をさすけよう楽しく邁進しています。

南種子町立平山小学校

「太陽が丘に あいさつの声ひびかせ 元氣いっぱい やる気いっぱい 楽しい学校」

一 活動の実践内容

本校では、青少年赤十字の「気づき、考え、実行する」精神に基づき、日常生活に根差したボランティア活動を積極的に実施した。

朝のボランティア活動としては、登校後に児童が進んで校内外の清掃や整理整頓に取り組み、気持ちよく一日を始められる学校環境づくりを行った。

また、緑化活動では、花壇やプランターへの花植えや水やり、雑草取りなどを計画的に実施し、植物を大切に育てる心を養うとともに、学校景観の向上を図った。

美化活動としては、PTAや地域の方と連携をしながら学校や校区内のごみ拾いや清掃活動を行い、公共の場を大切に使う態度の育成に努めた。

さらに、地域の人とのふれあい活動では、昔遊び体験等を通して地域の方々と直接交流する機会を設け、支え合う関係づくりを進めた。

二 成果

これらの活動を通して、児童は自分たちの行動が学校や地域をより良くすることに気づき、主体的に行動しようとする意識が高まった。朝のボランティア活動が習慣化し、進んで役割を見つけて動く姿が多く見られるようになった。

緑化・美化活動では、環境への関心や責任感が育ち、物や場所を大切に扱う態度が定着した。

また、地域の方々とふれあいを通して、感謝の言葉を受ける経験が児童の自信につながり、地域の一員としての自覚や思いやりの心が育成された。



日赤本社主催 青少年赤十字トレセン 指導者養成講習会に参加して

令和七年五月三十日(金)～
六月一日(日)

鹿屋市立西原小学校 堂園 朝晴

青少年赤十字のトレセンや研修等に参加するにつれ、私はより青少年赤十字活動について先生方に知ってもらい、広めていきたいと強く思うようになった。だからこそ、本社主催の青少年赤十字トレセン指導者養成講習会に参加し、様々な学びを吸収したいと思った。

今年度は、本社での講習会で自分自身が体験したこと、学んだことを県指導者講習会に参加した他の先生に向け、プレゼンテーションで発表を行った。発表前は「これで参加者の先生方に青少年赤十字について少しでも伝わればというような気持ちであった。しかし、終わってみると、本当に先生方に上手く伝わったのか不安だった。そこで、私自身の赤十字に関する知識の低さ指導者側としての未熟さが垣間見えた。これらの自分自身の課題を踏まえ、今後は指導者の立場として青少年赤十字について広く伝えていくことが出来るように尽力していきたい。



今年度は、本社での講習会で自分自身が体験したこと、学んだことを県指導者講習会に参加した他の先生に向け、プレゼンテーションで発表を行った。発表前は「これで参加者の先生方に青少年赤十字について少しでも伝わればというような気持ちであった。しかし、終わってみると、本当に先生方に上手く伝わったのか不安だった。そこで、私自身の赤十字に関する知識の低さ指導者側としての未熟さが垣間見えた。これらの自分自身の課題を踏まえ、今後は指導者の立場として青少年赤十字について広く伝えていくことが出来るように尽力していきたい。

九州ブロッツク指導者養成 講習会に参加して

令和七年八月十八日(月)～
十九日(火)

伊仙町立天田布小学校 上唐湊 誠

最後の勤務地でJRC担当教諭になり、後輩教諭へJRC活動の「いろは」を伝えていく最中に事務局から講習会参加のお話をいただいた。九州の各県からの代表の先生方とグループ交流を通し、講習の課題解決をすることで「気づき、考え、実行する」の大切さをさらに学ぶことができた。

また、赤十字の「人道」も改めて理解を深めることができた。今回の講習会で学び得たことを自校の児童と先生方へ積極的に伝えて生かそうと強く心に誓った。何故なら、JRC活動の経験者は、「行動・意識ともに積極的である」と言える。数年で退職を迎えるまでリーダーシップの人材育成に、全力で向き合いたい。実りある講習会に感謝している。



100文字作文コンクール

青少年赤十字加盟校の児童・生徒を対象に、青少年赤十字の実践目標である「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の達成のために掲げている「気づき、考え、実行する」(態度目標)の啓発に資することを目的に、100文字作文コンクールを実施しています。

令和七年度の支部長賞の作品を紹介します。

支部長賞

だれかのためにできること

鹿児島市立福平小学校 一年 尾ノ上 歩叶
わたしは、二年まえから、かみの毛をのばしています。それは、ウィッグをまっている子どもたちへ、ヘアドネーションをするためです。きれいにのばすために、お手入れをがんばっています。あと、五センチ。まっけてね。

やさしさの 릴레이

鹿児島市立武小学校 四年 伊地知 玲奈
友達が転んだ。
ひざからたくさん血が出ていた。だれも気づいていなかったけど、わたしは気づいた。そして一緒に保健室についていった。わたしが転んだ時にその子が助けてくれた。やさしさのバトンが繋がった。

やさしさの重さ

鹿児島市立牟礼岡小学校 六年 片平 莉緒
私は、赤い羽根共同募金活動に参加しました。みんなが募金してくれるたびに、募金箱が重くなりました。この重さは、やさしさの重さだと思えます。この活動で、困っている人にやさしさが届いてくれて、うれしいです。

心も磨く十五分間

いちき串木野市立市来中学校 二年 時田 珠乃
朝の十五分間のVS活動で、体育館裏の落ち葉掃きをしていた。寒くても、日に日に綺麗になっていくのを見ると心が温かくなることに気づいた。この時間を有効に使ってこれからも意識を高めて学校を磨きあげたい。

笑顔を描くクレヨンプロジェクト
鹿児島情報高等学校 二年 今 吉 優月
昨年度、カンボジアを訪問した際に教育を受けられない子供達を目の当たりにした。そこで現地で重宝されているクレヨンを作り、届けることにし、今、着々と進めている。一本のクレヨンが誰かを笑顔にすることを願っている。

学校賞受賞校

鹿児島市立福平小学校 与論町立与論小学校
いちき串木野市立市来中学校
鹿児島市立谷山中学校 鹿児島情報高等学校

令和7年度青少年赤十字加盟校(園)数

幼稚園 (11)	保育園 (24)
認定こども園 (17)	小学校 (233)
中学校 (95)	義務教育学校 (7)
高等学校 (20)	特別支援学校 (3)
計 410 校(園)	

令和7年度新規加盟校(園)

【小学校】 肝付町立高山小学校	宇検村立田検小学校
--------------------	-----------